

ビジョンクエスト(Vision Quest)

ビジョンクエストの名前の由来

ビジョンクエストとは、ネイティブアメリカン(アメリカ・インディアン)の通過儀礼として行われてきた儀式の名称です。

アメリカ・インディアンのトライブ(部族)では、若者がある年齢に達すると、部族の中から後見人として何人かの長老がついて、部族における自分の役割や存在理由を見つけるために、この通過儀礼(元服の修行)にはいります。

スウェットロッジというサウナのようなテントの中で、数時間にわたって汗をかき、身を清め、食を断ち、たった一人無言で、自然の中にたった一人でいられる場所に行きます。

そこで聖なる輪(メディスンホイール)を作ります。その中に端座して雨に打たれ、日に焼かれ、闇や孤独と共にいて、大いなる自然と一つになり、自分がその部族に生まれてきた目的や存在理由、使命を掴み、一族に役立つビジョンを見つけるまで探求(クエスト)を続ける儀式です。

この通過儀礼の名前を取り、企業のオーナー、最高経営責任者、経営者、上級管理職、リーダーのために提供しているプログラムがビジョンワークスのビジョンクエストです。

自らの組織が持つ、この社会における存在理由(目的)や価値を発見し、自分とこの組織の参加者一人一人と共有できるよう、自分の理念を言語化します。同時に参加される経営者やトップ・マネージメントとの間に、チームとして確固とした関係を築きます。

ビジョンクエストに期待できる効果

1) ビジョンの創造

企業組織として世の中に何を創り出したいのかを具体的、肯定的且つ明確にしていきます。経営の責任者として参加者一人一人の個人的な、また社内における使命と役割を明確にし、企業理念の確立を通して共通のビジョンと価値基準を創ります。このことによって企業がこの社会に貢献していく価値観がはっきりします。

2) 固定観念の突破

従来のコミュニケーションに画期的な変化を与えます。ここの固定観念を突破し、共通のビジョンや価値観を持つことにより、マネージメント・チームのコミュニケーションが変わります。また参加者の一人一人の中に、他の誰かではなく「自分自身が社会と組織の源である」という責任意識を育成します。

3) マネージメント・チームの一体化

組織の使命に基づき組織力の方向性を一致させます。組織の方向が一致していると、組織が大きくなっていても、早くて正確な決断が可能になります。

ビジョンクエストの概要

対象者：会社のオーナー・経営者・役員を含むボードメンバー及びトップ・マネージメント。

日数：3日間(宿泊型トレーニング)通常は前泊。最終日は遅くとも5時までには修了。地域によっては午後3時までのこともある。

対象人数：10人程度まで

会場：リゾートホテルなど自然に囲まれた環境で宿泊することが望ましい。自社の研修施設がある場合はそこでも可能だが、職場の環境からは離れることが必要条件。

費用の目安

3名から6名の場合参加費(¥270,000×人数)プラス直接経費

直接経費＝宿泊費・交通費・会場費・アシスタント日当・輸送費等の実費

上記以外はカスタマイズの内容により応談